

THE
WOOLMARK
COMPANY



パッチワーク クッション BY TEATUM JONES

端切れ布をホームメイドのクッションカバーに蘇
らせましょう。





材料

- ・ クッションx 1
- ・ 数種類の端切れ布
- ・ ジッパー
- ・ はさみ
- ・ ミシン
- ・ ミシン糸
- ・ チョーク／ペン／鉛筆
- ・ 紙かボール紙 (どんなものでも)
- ・ ピン(待ち針)
- ・ 定規
- ・ 巻き尺
- ・ オプション: 刺繍枠、手縫い針、毛糸／糸

LET'S GET STARTED!

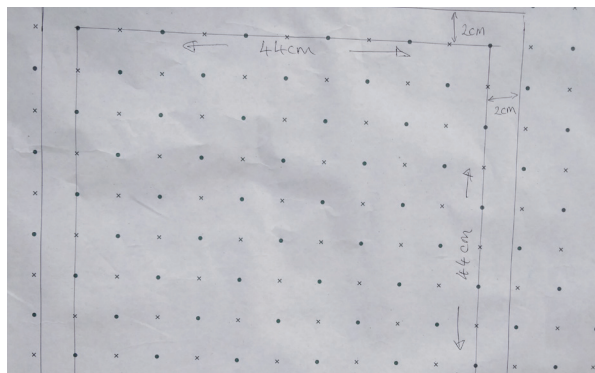
ステップ 1



クッションのサイズを測ります(作り方では45cm x 45cmサイズ)。

ここではウールベースの異なる布地9枚を使います。扱いやすいよう伸縮性のない布地をお勧めしますが、縫う時に安定するよう布地を貼り付けてしまって構いません。

ステップ 2



型紙を作ります。

クッションは縦3x横3の正方形に分割します。各正方形のサイズは15cm四方です。4辺すべてに1cmの縫い代を追加して、17cm四方の型紙となります。クッションを9個の正方形に必ず分けないといけないということではありません。

ステップ 3



型紙を好みの布地の上に置きます。型紙にピンを打ち、布地をカットします。

この9つの正方形はクッションの前面に使います。後面にはブラックの無地布を選びました。作るクッションのサイズに合わせて別の型紙を取ります。

ここでの作り方では4辺に1cmの縫い代を加えて、47cm x 47cmの型紙となります。

ステップ 4



9枚の正方形の位置を考えます。

1cmの縫い代を取って各正方形をミシンで縫い合わせます。縫い目は、外側を平らにして見栄えを良くするため開いてアイロンをかけます。

ここでは、まず3枚の正方形を縫い合わせたものを3つ作ってから、その3つを縫い合わせて大きな正方形にします。

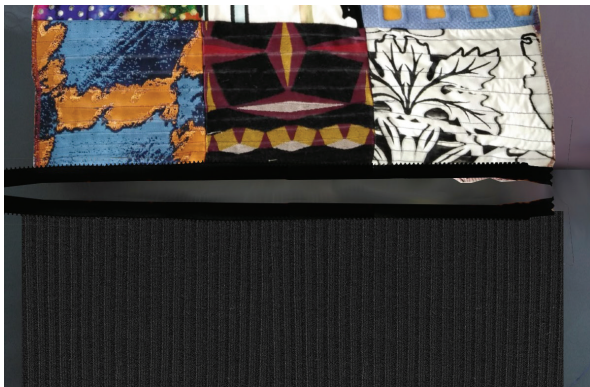
刺繍—オプション

チョーク／薄い色のペン／鉛筆を使ってクッションに好みのデザインを描きます。消せない鉛筆を使う場合には間違えないように注意してください。刺繍から鉛筆の跡がはみ出してしまいます。私たちが刺繍を入れる際には、必ず最初に型紙をとります。型紙を移動して、納得いく位置を見つけます。

布地を刺繍枠にはめます。刺繍枠はなくても大丈夫ですが、糸を引く時に強く引きすぎないように注意してください。そうしないと布地が引きつってシワになります。

希望の仕上がりにより、手刺繍またはミシン刺繍します。手刺繍の場合、私たちはウールの織糸を使って0.5cmのステッチで刺繍することが多いです。古いセーターの残り糸を使って同じように仕上げられます。

別布に刺繍して、クッションにアップリケのように付けてもよいでしょう。



ミシンで布地の前面と後面にジッパーを縫いつけます。

通常クッションの底部分にジッパーを配します。ジッパーをピンで正しい位置に留めます。ジッパーを閉めた時に、クッションの前面と後面が揃っていることを確認してください。

注：布地の幅より少しだけ短いジッパーを使うと、クッションを仕上げやすくなります。



ジッパーを縫ったら、両方の布を、中表にして揃えて重ねます。

残りの3辺を縫います。ジッパーの口を縫って開いている部分をふさぎます。

ジッパーは開けた状態で縫うようにしてください。縫い終わった後に縫い地を裏返す作業が楽になります。

仕上げ



クッションカバーを外表に裏返して、角部分を引き出して整えます。最後に仕上げのアイロンをかけます。

強度を高めるため、縫製の過程で内部の縫い目をオーバーロック(かがり縫い)するか(バイアステープで)閉じてもよいですが、これは必須ではありません。

ステップ 8



クッションをカバーの中に入れてジッパーを閉じます。完成です！

<https://www.woolmark.jp/about-wool/wool-care/>にて、ウールの洗濯と乾燥について簡単なヒントをさらにご覧になれます。

ステップ 9